

〈報道関係者各位〉

2019年10月1日

ジャパン・ソサエティー (JS)
新理事長選任のお知らせ

ジャパン・ソサエティー(JS)理事会は、ジョシュア・W・ウォーカー博士(Dr. Joshua W. Walker)を新理事長に選任する決議を行いましたのでここにお知らせいたします。

ウォーカー博士は、2019年12月2日付けで第20代理事長に就任します。

現在、地政学的リスク分析専門コンサルティング会社、ユーラシア・グループでグローバル戦略事業部長兼日本部長を務めるウォーカー博士は、2歳から18歳までを日本で過ごし、日米両国の文化・慣習に通じています。プリンストン大学で、政治学と公共政策における国際関係と安全保障を研究テーマに博士号を取得。ユーラシア・グループの前は、米国国務省や国防省を含む米国政府機関に勤務。その後、米国大手戦略コミュニケーション会社、APCO ワールドワイドの世界戦略プログラム担当ヴァイスプレジデントとして、2017年アスタナ国際博覧会(カザフスタン共和国)で米国パビリオン館長を務めました。国際関係、官民パートナーシップなどを専門にグローバルなビジネス外交分野での経験は20年以上にわたります。(略歴以下参照)

この度の就任を受け、ウォーカー博士は下記のように抱負を述べています。

『I am incredibly honored to be joining Japan Society as its next president and CEO. Having grown up biculturally and bilingually, I care deeply about how Japan is perceived in the world, and I am passionate about bridge-building between Americans and Japanese, to help them know and understand each other. I can't imagine a better way to deepen and strengthen the relationship between the people of both countries than through the leading and innovative work being done at Japan Society.』

ウォーカー博士の新理事長就任に伴い、2009年4月よりJS 第19代理事長を務めている櫻井本篤は、2019年12月1日付けで理事長職を退任します。

後任となるウォーカー博士の新理事長就任に向けて、櫻井本篤理事長は、次のように述べています。

『ウォーカー博士が次期理事長に選任され、この上なく喜ばしい限りです。日米の懸け橋となる歴史あるジャパン・ソサエティー理事長職を10年間以上にわたり務め、ウォーカー博士は次期理事長として最適任者であると確信しております。国際政策分野においての長年にわたる経験と、グローバルなコネクションを有し、日本文化にも深く通じているウォーカー博士は、ジャパン・ソサエティーの基本理念である日米両国間の相互理解を深めるべく、大いに貢献してくれると期待しております。』

また、ペレラ・ワインバーグ・パートナーズ社共同設立者でJS会長のジョセフ・ペレラ氏は、ウォーカー博士の新理事長就任について次のように述べています。

『The Board unanimously approved Dr. Walker's appointment, and I could not be more thrilled. From his childhood years living in Japan through his most recent strategic successes with Eurasia Group, he has approached life with a multi-cultural perspective. His rich insights, bolstered by his robust

accomplishments in academia, government, and the private sector, uniquely and solidly position him to lead Japan Society into its next era.』

JS 理事長(1952年-1970年)と JS 会長(1970年-1978年)を務めた故・ジョン・D・ロックフェラー三世を祖父に持つアデパー社ファミリー・オフィス兼財団担当グローバル・ディレクター、The ImPact 共同創立者兼会長で JS 理事のジャスティン・ロックフェラー氏は、ウォーカー博士の新理事長就任について次のように述べています。

『After a thorough search, we are so fortunate to have secured Dr. Walker as Japan Society's next President and CEO. He's utterly compelling and has the experience, and the diplomacy and leadership skills necessary to thrive in his new role. His values and priorities are consistent with the vision set by my grandfather, John D. Rockefeller 3rd, who led Japan Society from the 1950s to the 1970s. I look forward to working closely with Dr. Walker.』

JS は、新たなリーダーシップのもとスタッフ一同、事業の更なる充実と発展を図る所存です。皆様には、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。

ジョシュア・W・ウォーカー博士 (Dr. Joshua W. Walker)

2歳から18歳までを日本で過ごす。リッチモンド大学卒、イェール大学大学院国際関係学部で修士号を取得後に、プリンストン大学で政治学と公共政策における国際関係と安全保障を研究し博士号を取得。イェール大学大学院在学中に在トルコ共和国アンカラ市米国大使館に勤務。その後、米外交問題評議会にて国際情勢フェロー、米国国務省でクリントン元国務長官のもと、グローバル・パートナーシップ・イニシアティブの一環で中東・北アフリカ問題上級アドバイザー、ケリー元国務長官のもとチーフエコノミスト室で上級アドバイザーなどを歴任しました。2013年8月から2017年11月まで米国大手戦略コミュニケーション会社、APCO ワールドワイドの世界戦略プログラム担当ヴァイスプレジデントを務めました。APCO ワールドワイド勤務中の2017年に開催されたアスタナ国際博覧会(カザフスタン共和国)で米国パビリオン館長を務めました。現在は、地政学的リスク分析を専門とするコンサルティング会社、ユーラシア・グループでグローバル戦略事業部長兼日本部長を務めています。国際関係、官民パートナーシップなどを専門にビジネス外交分野での経験は20年以上にわたります。また、ブランダイス大学やジョージ・メイソン大学、ハーバード・ケネディスクールなどで教鞭をとった経験を有しています。その他には、トルーマン・ナショナル・セキュリティ・プロジェクトの国家安全保障フェロー、米ジャーマン・マーシャル・ファンドのトランスアトランティック・フェロー、三極委員会デイヴィッド・ロックフェラー・フェロー、ミュンヘン・ヤング・リーダー、アメリカン・ターキッシュ・カウンシルのEGゼクティブ・ヴァイスプレジデント、全米国際姉妹都市協会名誉理事など。イェール大学国際問題ジャーナル創刊編集長。トライリンガル(英語、日本語、トルコ語)

【ジャパン・ソサエティーについて】

ジャパン・ソサエティーは、1907年(明治40年)にニューヨークに設立された米国の民間非営利団体です。全米最大の日米交流団体として、両国間の相互理解と友好関係を促進するため、多岐に渡る活動を1世紀以上にわたって続けています。その活動範囲は、政治・経済、芸術・文化、日本語教育など幅広い分野にまたがる各種事業や人物交流などを通じて、グローバルな視点から日本理解を促すと同時に、日米関係を深く考察する機会を提供している。今日、JS は日米の個人・法人会員をはじめ、政財界のリーダー、アーティスト、教育関係者、学生など様々な参加者を対象に年間約200件のプログラムを提供しています。

<プレスお問い合わせ先>

杉山麻佐子 Tel: 212-715-1249
ミシェル・デブレツェニ Tel: 212-715-1228

Email: asugiyama@japansociety.org
Email: mdebreceni@japansociety.org

###